



竹下 英治 議員

竹下 令和5年度について、学校の先生や役場の職員等以外の一般の住民の方のセミナー参加人数は。

教育長 7月の「なるほど人権セミナー」は豪雨災害のため一回のみの開催。「人権・部落問題」で住民の方の参加は55名中7名。11月の「人権を考える（ひろかわ）セミナー」には、3回（「性の多様性」「同和問題」「障がい者の人権」）実施し、172名中23名の参加であった。

竹下 住民の方の参加数が少ない状況が改善されていない。ま

人権セミナー

A

「拉致問題」のセミナーは、今後取り入れたい

Q

令和5年度の成果と令和6年度の計画を問う



人権セミナー

た、LGBT法に係る「性の多様性」の実施は、県等の指導によるのか、町の発案か。

教育長 町の判断である。

竹下 「拉致問題」は極めて重要であるが、6年度の実施はないのか。

教育長 6年度の計画はないが、これには県の補助事業が使えるので、今後、是非取り入れたい。

竹下 補正予算による令和6年度内の実施を提言する。

学校給食

A

実現したいが、財源の問題がある

Q

学校給食の意義と無償化の考えを問う

竹下 学校給食の意義について、必ずしも法律にこだわらず、どのように捉えているか。

町長 学校給食法の制定以来、子供たちの食生活を取り巻く環境は大きく変化している。この中で、これからも学校給食が安全で安心、かつ、おいしい食事を提供し続けることで、健康で心豊かな児童・生徒を育ていく必要があると考えている。

竹下 「学校給食の無償化」は、町長の公約であるか。

町長 選挙活動中にそういった意見を多数頂き、私としても是非実施したいと考えているが、財源の問題がある。令和6年度からの「こどもまんなかプロジェクト」の一環として検討したい。

竹下 7、8千万円ぐらいの財源は、工夫すればできるのではないか。既存事業の見直し努力



学校給食

が不足している。過去にも、少子化の原因は各種の状況が複合しており、具体的な施策の案出が難しいとの答弁があった。少子化への対応は、（役場）組織改革によるなど、そんな悠長な話ができる問題ではない。試行錯誤でも、学校給食の無償化を思い切って実施することを提言する。